

日時：平成26年8月1日(金) 11:00~17:00

場所：日本学術会議6階 6-C会議室 (1)

出席者：片山倫子委員、渋川祥子委員、小川宣子委員、工藤由貴子委員、  
多屋淑子委員、塚原典子委員、沖田富美子委員

欠席者：都築和代委員、

同席者：日本学術会議事務局 井須氏

資料：資料1. 第22期 第15回 家政学分会 議事要旨 (案)

資料\* 健康・生活科学委員会家政学分会 進め方

資料○ はじめに 渋川

資料2 第1章 家庭科教育の変遷 工藤

資料3. 小学校指導要領の変遷

資料4. 1947年学校教育法の制定以降、教科家庭科の誕生以降の家庭科の内容

資料5. 第2章 家庭科担当の教員養成制度の変遷と現状

1. 家庭科担当の教員養成制度の変遷 小川

資料6. 2. 家庭科担当の教員養成制度の現状 多屋

資料7. 各種教育免許状の一覧表

資料8. 第3章 家庭科教育の現状調査

1. 大学生を対象に衣食住の基本的スキルの学習効果についての調査 沖田

2. 家庭科教育担当教員対象に指導内容に対する意識等に関する調査 塚原

資料9. 第4章 家庭科教育を養成するための提案 片山

その他資料 科学研究費の細目案

#### 議事内容

1. 前回分科会 (15回) 議事要旨の承認 (資料1)

2. 記録「これからのくらしに家政学が果たすべき役割

—家庭科教員養成の観点から—(仮題) の内容検討 (資料○ 資料2~9)

資料にそって各担当者から説明後、内容の検討をおこない、重複箇所などを整理し、構成案をあらたに作成する。次回まで各自指摘、意見を参考に修正することとした。

家庭科教育の現状に関する2つの調査(資料8)を公開するにあたり、投稿先を家政学雑誌とする。原稿案を作成する。

3. その他

次期の活動案に対する提案について 委員長より説明がなされた。(資料\*)

科学研究費細目案について 検討を行った。

次回 9月12日(金) PM14:00~15:30

於日本学術会議

